

No.70



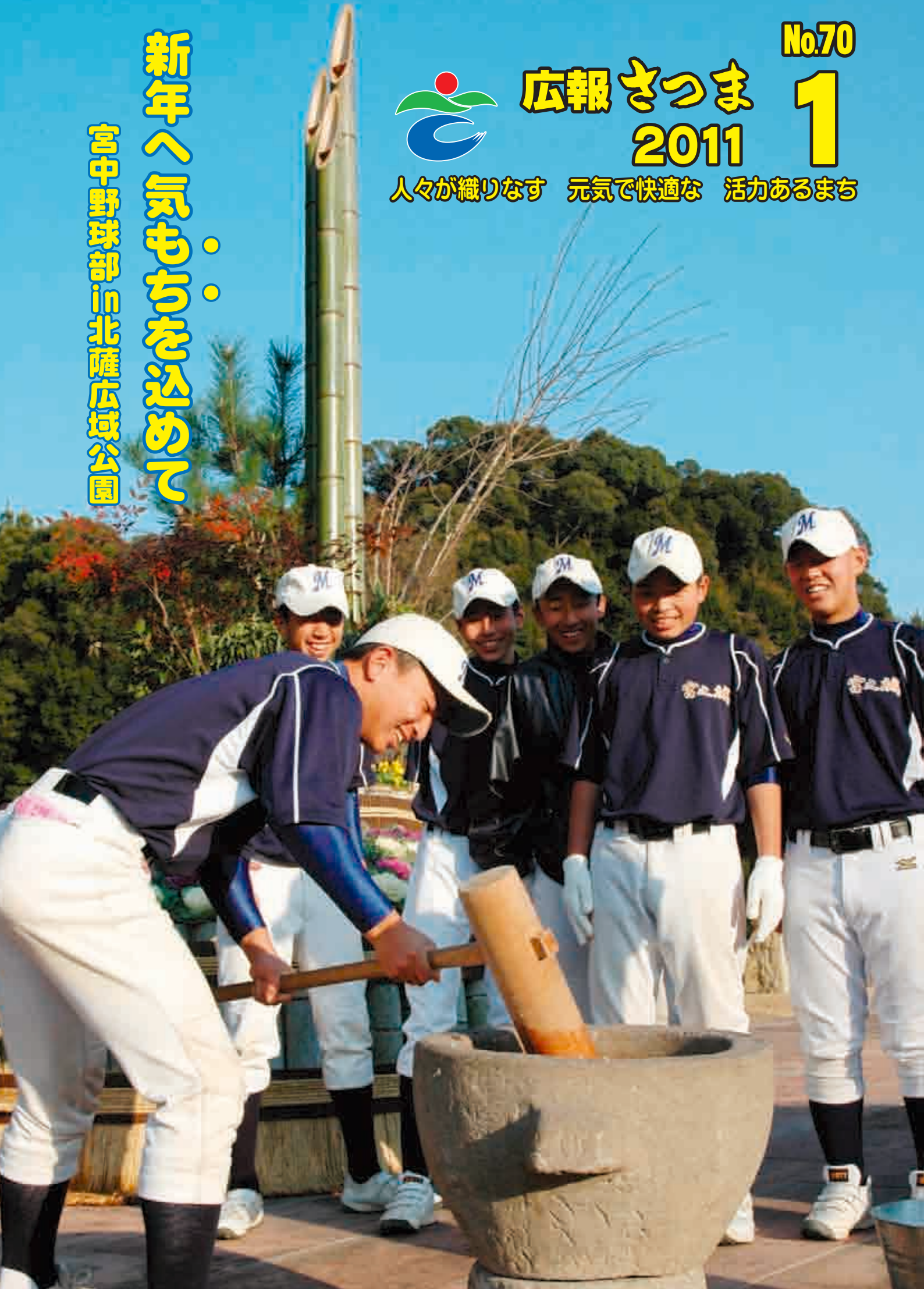
広報さつま 2011

1

人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち

新年へ気もちを込めて

宮中野球部 北薩広域公園



- 02 町長、議長新年のあいさつ
- 04 未来のさつま町
作文コンクール作品の紹介
- 08 平成21年度決算の状況
- 11 平成21年度水道事業会計
決算の状況
- 12 新民生委員・児童委員
主任児童委員の紹介
- 14 まちのニュース
- 18 さつまエコアクションだより
こんにちは、保健師です
- 19 町職員給与等、特別職町議
賞与の減額について
- 20 我が校の特色ある教育活動
- 21 川内川激特
鶴田ダム再開発速報
- 22 暮らしの情報
- 25 がんばれ認定農業者
- 26 ひと仕事（さつまに生きる）
- 27 誕生・おくやみ
1歳で～す
- 28 人・夢
休日在宅医・薬局

■表紙の写真説明

「茅葺き」「餅つき」体験
宮之城中学校野球部 in 北薩広域公園



12月19日、北薩広域公園で「茅葺き体験・餅まき」と「餅つき」の体験が行われ、宮之城中学校野球部の生徒が参加しました。これは、北薩地域振興局が現在行っている公園内の茅葺屋根葺替作業において、今ではほとんど見られなくなった葺替作業を実際体験してもらおうと開催されたものです。

生徒はヘルメットに安全帯姿で屋根に上り、茅葺専門職人の指導を受けながら初めての茅葺体験を行いました。



さつま町長 日高 政勝

新年明けましておめでとございます。町民の皆様方には、それぞれの感慨や抱負を胸に、平成23年の輝かしい新春を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

一昨年から引き続き、皆様の力強いご支援と温かいご厚情を賜りまして、町長の重責を担わせていただき、寄せられた信頼と期待に応えるべく、全身全霊を傾注して町政執行に努めてまいりました。

宮崎県で発生いたしました家畜伝染病「口蹄疫」では、関係者をはじめ多くの方々のご協力によりまして本町への侵入を阻止することができましたが、町や地域の各種イベントの中止或いは延期を余儀なくされ、畜産関係者を中心に商業、飲食業等地域経済に甚大な間接被害が発生しましたので、その元氣回復対策にも努力を傾注してまいりました。

このような中、秋には「未来に輝け 元氣あふれる さつま町」をテーマにさつま町5周年記念式典をはじめ一連の行事・イベントなどを開催することができ、次になる時代へ飛躍する節目の年とすることができましたことは、ひとえに町民の皆様方の温かいご理解とご協力の賜りです。

物と深く感謝申し上げます。

長引く世界的な経済不況や円高、デフレに加え、政治情勢が混沌とした先行き不透明な状況下において、本町の地域経済全体にも未だ明るさが見えないところでもあります。

このようなことから、一刻も早い景氣回復を願ひ、国の施策と呼応しながら、マニフェストに掲げた政策を基本とし、町独自の政策も可能な限り積極的に推進してきたところであります。

現在、川内川の激特事業による築堤、分水路開削に加え、橋梁の掛け替えと鶴田ダム再開発事業などが本格化するなかで、雇用を含む町内経済の活性化など喫緊の課題をはじめ、急速に進行する少子高齢化、時代の変遷に伴う多種多様な行政需要が山積しております。これら課題解決に向け、新たな決意のもと職員と一丸となつて適切に対応して、町民の皆様が「夢と希望の持てる元氣なまち」を目指し、尚一層の努力をしてまいります。

今後とも町政推進に倍旧のご支援とご協力を賜りますとともに、本年が皆様にとりまして最良の年でありますことを心からご祈念申し上げます。

謹賀新年

新年のごあいさつ



さつま町議会議長 中尾 正男

新年明けましておめでとございます。皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年は、町政の推進と町議会活動に対しまして温かいご指導、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、我がさつま町は、平成17年3月、近隣3町の合併により、新たな一歩を踏み出し、今こうして5年の歴史を刻んだところでございます。これまでの軌跡を辿ってみますと、平成18年の豪雨災害をはじめ、昨年4月、宮崎県における家畜伝染病「口蹄疫」の発生。さらに、世界的な経済不況の中で地域における経済活動は長期にわたり低迷し、人々の生活に多くの影響をもたらしました。

また、少子高齢化の社会動態の現況が将来に對する不安をもたらし、こうした閉塞感の中の町政の推進は、大変なものがございました。

地方の時代と呼ばれている中、地方行政を取り巻く情勢は、一段と厳しい方向に進むことが懸念されますが、こうした中にありましても、住みよい郷土創出のために、町民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、この難局を執行

部と共に切り開いてまいりたいと思う所存でございます。

一方、各々の地域に目を向けますと、特性を生かした自治活動が活発に展開されており、こうした地域を守る人々の熱き思いに触れるとき、誠に頼もしく今後さらに、活力ある地域づくりに向けて諸施策を推進していかなければならぬと痛感することでございます。

このように、子どもや孫に誇れる町を創って行くことは、今を生きる私共の務めであり義務でもあると認識しております。

私も議会におきまして、町の動きや議会活動の概要など、町民の皆様と種々の情報を共有するため「議会報告会」を実施し、開かれた議会を具現化するための活動を展開してまいります。

新たな年を迎え、我がさつま町が、未来に向けて明るく、住みやすい町として、確かな歩みを進めて行く事を願ひいたしますと共に、本年が皆様にとりまして幸せ多き年となりますようお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

さつま町5周年記念 未来のさつま町作文コンクール

特別賞・最優秀賞作品の紹介

5周年を記念して、町民の皆様から広く募集しました「未来のさつま町作文コンクール」の表彰が、去る11月14日の5周年記念式典の際に行われました。受賞された、特別賞3人と各部門の最優秀賞3人の作文を今月号で紹介します。

【特別賞】

さつま町長賞

よかこっばっかい、 さつま町

鶴田中学校2年

上野 信太郎さん



「年を取ればよかこっばい。これは祖母の口ぐせだ。この言葉を聞くと、僕はとてもさびしい気持ちになる。長生きしても楽しくないということだからだ。」

一人暮らしの祖母は、数年前に脳こうそくという病気になり、右の手足が不自由になった。それから「今までみたいに自分で運転できたらいいのに。」とため息まじりにつぶやくことが多くなった。特に、車に乗せてもらうとうとき

は、申し訳なさそうに何度もお礼を言っている。僕は、体の不自由な祖母が、どうしたら毎日を楽しく過ごせるのか考えてみた。そこで、「お年寄りが一人でも楽しく暮らすには、どうしたらいいと思う。」と聞いてみた。すると、祖母は悩んだ末、「バスが来てくれたらよかねえ。」とだけ答えた。祖母は今でも週に一度、病院に行くとき病院のバスを利用するが、普段の買い物はできない。タクシーはお金がかかるし、電動シニアカーは道が整備されていないので危ない。知り合いの人に車に乗せてくれるように頼むこともあるが、何度か頼むと頼みにくいと話していた。

田舎でのお年寄りの一人暮らしは、車の運転ができないと大変不便であることが分かった。さつま町にはお年寄りが多い。きっと祖母のように困っている人がたくさんいるだろう。そこで、これからのさつま町をどうしたらいいのか僕は考えてみた。まず、車の運転ができないお年寄りにとっては、シニアカーは大変便利である。しかし、ほとんどの町道には人やシニアカーが通れる歩道がない。だから、シニアカーが安全に通行できるように、歩道がもっと整備されたらと思う。また、病院だけでなく、商店・役場・農協・郵便局

などへも気軽に行けるように、定期的にバスを家の庭先まで運行して欲しい。そして、そういう施設には、スロープや洋式トイレなど、きちんと設置したい。さらに、商店に日用品を宅配するサービスがある、電話で連絡して品物を届けてもらえるので、お年寄りは助かるはずだ。

僕の祖母の周りには優しい人がたくさんいて、とれたての野菜を届けてくれたり、温かい声をかけてくれたりする。そんなとき、祖母はうれしそうだ。それを見ていて僕もうれしくなる。体の不自由なお年寄りは家にこもりがちなので、外に出て気軽に話せる場所や機会をたくさん作りたい。人と交流することを生かす楽しさにつなげて欲しいからだ。

さつま町はこれからもっと高齢化が進み、お年寄りが増えるだろう。もっとお年寄りが住みやすい町づくりをしなければいけない。つまり、弱い立場のお年寄りが住みやすい町ということは、僕達みんなが住みやすい町ということだ。祖母は、体が不自由で悔しいだろう。でも、「年を取っても、よかこっばっかいじゃ。」と笑いながら言えるさつま町で、もっと長生きして欲しいと思う。

さつま町議会議長賞

みんなできてる 未来のさつま町

盈進小学校4年

中間 凜乃さん



「あのね。とうとう橋がなくなっていたよ。」わたしは、走ってひいじいちゃんに知らせました。今まで、目にしてきた宮都大橋が、なくなり、新しく通れる橋に変わっていたからです。ひいじいちゃん、五十年前、仕事で宮都大橋を作ったときの思い出を話してくれました。ひいじいちゃんにとっては、思い出の橋だったので、ひいじいちゃんの顔は、さびしそうに見えました。

その夜、わたしは夢を見ました。大きなきれいな宮都大橋の上を、車や人が行き来するさつま町。かのんだきや北さつま公園で、

大人から赤ちゃんまでスポーツで楽しんだり、自然の中で遊んだりできるさつま町。商店がいには、家族つれや車いすの方も笑顔で買物をするさつま町。川内川がただやかに流れ、川の水がすみ、夜になると、ぴかぴかと星がまたたくように、たくさん星のホタルが、仲間たちと光のおびを見せながら飛んでいるさつま町。温泉に入り、町の人が集まって楽しく話をしてるさつま町。幸福な気持ちでした。

目がさめて、夢のことをみんなに話したくなりました。今のさつま町も大好きだけど、十歳のわたしたちが、大人になった時に、今よりもっと活気のある町になった方がいいと思います。昔からのものを大切にしながら、町の人たちがよるこんで住める町につないでいけたら、ひいじいちゃんたちも、「昔もよかつたが、今は最高じゃ。」と言ってくれると思います。そのために、わたしたちができることは、今は、まだ少ないかもしれませんが、でも、大好きなさつま町の未来のために、自然を大切に、さつま町をよくしようと、みんなに伝えていきたいです。そして、これからさつま町と共に大きくなって、夢にみた未来のさつま町に、本当になりますようにと願っています。

さつま町教育委員会教育長賞

こんな町に なったらいいな

中津川小学校2年

市山 晴菜さん



さつま町には、やさしいやくだものをつくっている人がたくさんいます。あついでところどころをするのは、たいへんだなあと思います。がんばってつくってくれたやさしいやくだものを食べると、元気が出てきます。わたしは、さつま町のやさしいやくだものが大すきです。

わたしのおとうさんも、なしやぶどうをつくっています。だから、わたしも大きくなったら、たくさんやさいとくだものをつくりたいなあと思います。おとうさんがしているのう園よりも、もっともつと大きなう園にしたいです。それは、いろんなくだものや

さいをいっぱいつくりたいからです。もも、メロン、スイカ、いちご、パイナップル、ぶどう、りんご、キウイフルーツ、マンゴー、みかん、ブルーベリー、くり、さくらんぼをたくさんつくってみたいんです。そして、一年じゅう、ずっとおいしいくだものやさいがとれるようにしたいです。おいしいつくれるように、がんばりたいなあと思います。

つくったくだもので、アイスクリームもつくってみたいです。つくったアイスクリームは、のう園の近くのお店でうろうと思えます。これで、のう園にきてくれる人が、ふえてくれたらいいなと思います。わたしがつくったやさしいやくだものを食べて、みんなが、「おいしいね。」

「また、食べたいなあ。」と言ってくれたらいいなあと思います。そして、食べた人みんながニコニコ顔で元気になつてくれたらいいなあと思います。今は、さつま町にあそびにきてくれる人は少ないです。どうしてさつま町にきてくれないのかな、おいしい食べものもいっぱいあるのになあ、たくさんの人にきてほしいなあと思います。多くの人が、さつま町にきてくれるように、やさしいやくだものづくりをがんばりたいです。みんな、元気な町になあれ。

小学校の部最優秀賞

さつま町、
そのは福祉の町



白男川小学校4年
濱崎 亮希くん

ほくたちの住んでいるさつま町は、川や山や温泉などの自然が多く、鹿児島市や薩摩川内市まで車で一時間ぐらいいの、かんきょうにもめぐまれてるところです。また、お年よりも多く、町の人口に對するお年よりのわり合もとても高いです。

だから、お年よりも楽しく住める町であってほしいと思います。そのためには、公園に日かげのベンチをふやしたり、グラウンドゴルフなどを楽しめるしばふの広場を作ったりしてほしいです。たくさんのお年よりが集まって話をしたり笑ったり、体を動かしたりすると、きつともっと元気になると思います。また、その公園に子どもたちも集まって、お年よりと子どもたちがふれ合いをもつと、やさしさの広がる町になると思います。さつま町は人けんの町でもありつてほしいと思います。そのため

には、歩道の点字ブロックや、音の鳴る信号きをふやしてほしいです。また、町の中心にしかないで、しょうがい者にとつてはふべんだと思います。また、歩道に上がる段差が大きいので車いすの人にとつてはそれがしょうがいになりそうです。そして、さつま町はたくさんさんの温泉があります。小さい子からお年よりにまで楽しんでます。でも、しょうがい者が入れる温泉はありません。県内でもないと思います。だから、しょうがい者もゆつくり入れる温泉しせつがある、あちこちからさつま町に来て、よるこんでもらえると思います。そして、さつま町が人けんの町であることをもつともつと知ってもらえると思います。

さつま町は、自然のよさを残しながら、人にやさしい町づくりをめざしていつてほしいと思います。ふくしの町、さつま町。みんなが笑顔いっぱい町であつてほしいです。

中学校の部最優秀賞

私を支えてくれる町



鶴田中学校3年
軸屋 伶奈さん

私の住んでいるさつま町は、五年前に合併してできた町です。まだ鶴田町だったころ、私は四歳の時に引越してきました。車から降りたときに感じた空気のきれいさと、人の温かさを今でも覚えています。それは、現在のさつま町にも変わらず言えることだと思っています。そのさつま町の未来の理想として、私が思うことが二つあります。

一つ目は、今の自然を残すことです。私の家は緑の山々に囲まれていて、とても穏やかなところなんです。犬の散歩をしているときには鳥のさえずりや虫の鳴き声、川のせせらぎが聞こえ、そして透んだ空気の新鮮さも感じる事ができます。また、家の水道は井戸水なので、いつでも安心して冷たくておいしい水を飲むことができます。夜には、空いっぱい星が輝き、すくきれいです。都会ではこんなきれいな夜空は見れないのだから、と思うと、やっぱり私は、この町が好きだなと感じます。

それでも、いい点ばかりではありません。私は夏休み、川に行きました。川の水は澄んでいてとてもきれいだつたけれど、草むらにはゴミが落ちていました。このよなことが自然を破壊する原因になるのだと思います。自分たちの町を自分たちで汚しているのは悲しいことです。これらをなくすためには、さつま町民一人一人がゴミを捨てないという、心がけをする必要があると思います。そのためにも私たちが出来ることも、たく

住んでいる幸せを感じたひとときだつた。

一方演じる人と見る人の一体感とは少し異質の光景もあつた。「ズシ、キャン」のリズムで縦横に踊る秋津島舞は、ひと頃は踊り子も五十人近くいたようだが今は二十人足らず、転動してきたばかりの夫を入れてもまだ足りない。後継者不足は郷土芸能の抱える一つの課題だろう。それでも夫は仕事が終わつてから苦手を踊りを必死に練習した。秋の本番では、天気の影響もあつてか見る人は少なかつたので、私は残念に思つた。しかし、踊り終えた夫は「いろんな人と仲良くなれた。恥ずかしかつたけど、最後まで踊れて良かった。」とうれしそうに話していた。夫の話聞いてみると、もつと踊り子が増えて地域の人が繋がりが、郷土の良さを肌で感じる機会が増えたらいいのと思う。

平成の市町村合併により周囲を大きな市町に囲まれる小さなさつま町は、それに埋没することなく私たちが自慢できる町でありたい。ああ、あの何々で有名なさつま町ね、と言われる時に、何々とは建設費で語られるような箱物やマスコミ受けするような有名な人であつてほしくない。住んでいる人自身が何年にもわたつて取り組んで身につけた習慣であつたり心の財産であつたりしてほしい。それゆえ、これから、吹奏楽の

さんあります。地域のゴミ拾いに参加したり、リサイクルをするなど、一人一人の心掛けで変わることもあると思います。

次に、私の周りいる人たちにいてです。昨年、いつもそばにいてくれた祖母を亡くしました。考えれば考えるほど、辛くて、悲しくて、涙が出るだけでした。頭が真っ白になり、何も考えられなかつた私に、学校で待っているねと温かく声をかけてくれる友達がいりました。祖母のために、葬儀に参列してはげましの言葉をかけてくださる地域の方々がいました。そのとき改めて、私はたくさんの人に支えられて生きてるんだと実感しました。また、普段から近所の方は私が学校から帰っているときに、「気をつけてね。」と声をかけてくださいます。ささいなことだけれど、温かい人たちが多いのは、この町の良いところなんです。

私たちは一人ではないと思える町です。だから、これからもさつま町には、人と人がつながりを持っていてほしいです。

私は将来、ここが私の住んでいた故郷なんだと、誇りを持って言えるように、さつま町がこの先も自然や人の温もりがふれる町であることを願います。そのためにも、雄大な自然を大切に、環境について考えることや、みんなが協力し合い、互いに思いやる気持ちを決して忘れてはならないと思えます。未来のさつま町も人の心や自然が美しい町でありますように。

美しい音色や、笑顔溢れる一生懸命な歌声を町ぐるみで大切にしたい。吹奏楽と歌声の町つて、なんて素敵な響きだろう。踊り子増殖中の町というのも悪くない。郷土芸能が各地域で自由な気風の中、伸びやかに展開されると、きつとたまらなく楽しいに違いない。

ただし、住みたい町づくりに文化的側面だけではなく機能的な環境整備もやはり忘れてはならない。子育てには環境の良い町が、年をとつたら生活に便利な大きな町の方がいいとよく言われるが、生まれてから死ぬまで同じ町で安心して過ごせることがやはり望ましい。そのため、今後、さらに安全性と利便性を拡充することで生活環境を整備し、豊かな自然とのバランスの取れたさつま町を目指したい。

そして、未来のさつま町が住みよい町であるには、私たちの思いが大切にされていることが前提になる。町づくりの主役は、町民一人一人だからだ。それぞれが、よい町になるように自分のできることを楽しく実践し、感動を共有する。その感動が専門家や自治体を動かせる程に広がつた時にこそ、みんなの住みたい町・さつま町が生まれると思う。私たち一人一人が、住みよい町づくりに向けてタクトを伸びやかに振っている、そんなさつま町に私は住みたい。

高校以上一般の部
最優秀賞

我ら未来の
さつま町応援団



柏原区
上野 宏恵さん

「校歌斉唱」
そうアナウンサーされると、坊主頭のがつちりした大柄の男の子が壇上に勢いよく上がった。「整理運動」ではない。確かに彼の右手には、しっかりとタクトが握られていた。曲に合わせて、大きな体を折り曲げるようにして優しく囁きかけるような目差しで指揮は始まつた。

「若鶴の旗 かざしつ つ 建設の途 われら進む」
彼の体全体を使った大きく流れるような動きには、気負いも力みも感じられない。その指先のタクトに操られるかのように、生徒たち

の口は大きく大きく開いた。体は前へ前へと波打つた。そして、運動場には、中学生らしいはつらつとした歌声がいつぱいに広がつていった。指揮をする男子の熱い瞳と一心にタクトを見つめながら歌う生徒たちの一生懸命な瞳は、澄み切つた秋の空をよけいに清々しいものにしていて。最近、私は無条件に感動することが少なくなつたなあと思う。でも、この日、少年の振つたタクトが私の目にはとても輝いて眩しく映つた。

同じくタクトが輝いて見えたのは、娘の吹奏楽部も参加したさつま町吹奏楽フェスタのこと。それは有志による町民合唱団と全楽団による童謡メドレーの時だつた。終始にこやかなベテランの指揮者が、来場者も一緒に口ずさむ伸びやかな歌声と吹奏楽の奏でる流麗なメロディーを見事に結びつけた。そして、ホールいつぱいを幸せな高揚感に包んだ。指揮者と合唱団の息のあつたハーモニーに、私は目が釘付けになり引き込まれてしまった。

そして、中学校のあのタクトと歌声がリレーされ、この文化センターの魂を揺さぶるような感動に繋がつたように思えた。あんな生徒たちの歌声と汗と涙のあふれる学校にいじめなんかあるわけない、こんな精一杯の歌声の響く町に住みにくいはずがないと思えてならなかつた。私が、さつま町に

住んでいる幸せを感じたひとときだつた。

一方演じる人と見る人の一体感とは少し異質の光景もあつた。「ズシ、キャン」のリズムで縦横に踊る秋津島舞は、ひと頃は踊り子も五十人近くいたようだが今は二十人足らず、転動してきたばかりの夫を入れてもまだ足りない。後継者不足は郷土芸能の抱える一つの課題だろう。それでも夫は仕事が終わつてから苦手を踊りを必死に練習した。秋の本番では、天気の影響もあつてか見る人は少なかつたので、私は残念に思つた。しかし、踊り終えた夫は「いろんな人と仲良くなれた。恥ずかしかつたけど、最後まで踊れて良かった。」とうれしそうに話していた。夫の話聞いてみると、もつと踊り子が増えて地域の人が繋がりが、郷土の良さを肌で感じる機会が増えたらいいのと思う。

平成の市町村合併により周囲を大きな市町に囲まれる小さなさつま町は、それに埋没することなく私たちが自慢できる町でありたい。ああ、あの何々で有名なさつま町ね、と言われる時に、何々とは建設費で語られるような箱物やマスコミ受けするような有名な人であつてほしくない。住んでいる人自身が何年にもわたつて取り組んで身につけた習慣であつたり心の財産であつたりしてほしい。それゆえ、これから、吹奏楽の

財政健全化法による財政指標について

市町村などの財政破たんを未然に防止するため、財政の健全化状況を判断する比率と、水道事業などの公営企業の資金不足比率を公開することが義務付けられています。

平成21年度決算から算出された比率は次のとおりです。いずれの数値も国の健全化基準をクリアしています。





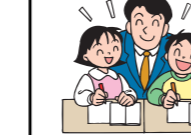






◆健全化率（％） 「-」は、実質赤字額及び連結実質赤字額がないことを意味します。（ ）は国の早期健全化基準

実質赤字比率	- (13.50)	福祉、教育、まちづくりなど、どの地方公共団体でも普遍的に行う事業をまとめた一般会計の赤字の程度を指標化し、財政の深刻度を示すもの
連結実質赤字比率	- (18.50)	全ての会計の赤字や黒字を合算（連結）し、地方公共団体全体として赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもの
実質公債費比率	18.0 (25.0)	借入金（地方債）の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの
将来負担比率	95.1 (350.0)	一般会計の借入金（地方債）や将来支払うことになる可能性のある負担等の現時点での程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の高さを示すもの

◆資金不足比率（％） 「-」は、資金不足額がないことを意味します

水道事業特別会計	-	特別会計ごとの資金不足割合
簡易水道特別会計	-	
農業集落排水特別会計	-	

○町民一人当たりに使われた金額 62万8千円 (平成22年3月末現在の推計人口:24,020人)

 民生費 13万4千円	 公債費 12万5千円	 総務費 12万2千円	 土木費 6万4千円	 教育費 5万4千円	 農林水産業費 4万円
 衛生費 3万7千円	 商工費 2万2千円	 消防費 2万1千円	 議会費 5千円	 災害復旧費 4千円	

公債費は、町が国などから借りたお金の返済に要する経費です。

○町債（町の借金）の残高は12億4,302万8千円の減（前年度比6.1%減）

21年度の決算では町債の発行額（新たな借入額）は1億4,092万3千円で、前年度に比べ6,549万3千円増加したものの、町債の償還を2億9,239万4千円行った結果、町債残高は20年度末の2億3,290万9千円から、21年度末には1億2,430万2千円減の1億9,060万9千円となりました。

町債の償還額は平成19年度のピークを越え20年度以降徐々に減少傾向にありますが、災害復興関連事業や学校の耐震化事業、公共施設の維持補修等の経費が今後も見込まれることから、事業を厳選し新たな借入を抑制していく必要があります。

なお、町債の残高を町民一人当たり換算すると、7万2,864円になります。

■町債は使う人みんなで費用を分担する仕組み■

町債は、道路や公園など長い年月使用する施設を建設する場合などに発行しています。

なぜこのような施設の建設費用に借入れをするのかというと、建設した時の町民だけが全て負担するのではなく「分割払い」にして、将来に利用する町民にも公平に負担してもらうためです。

平成21年度決算の状況

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

一般会計 歳入決算額 159億 735万3千円 (対前年度6.3%増)
歳出決算額 150億9,372万8千円 (対前年度8.2%増)

◆平成21年度決算の概要

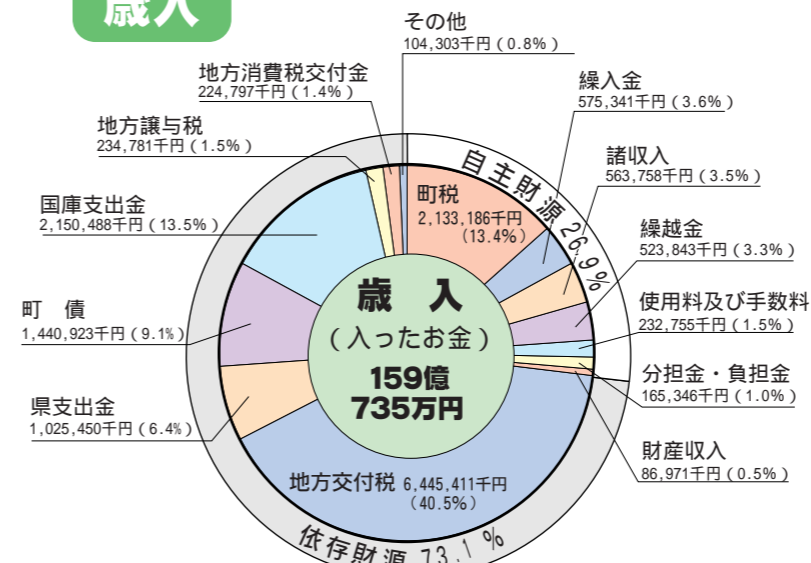
平成21年度決算は、総合振興計画に基づいた事務事業への取り組みを進めて参りましたが、世界規模で進んだ金融・経済不況を背景とした急速な雇用情勢の悪化のもと、国を挙げて景気・雇用対策に対する取り組みが進められ、本町もこれらに繋がる事業を展開しながら積極的な予算の執行となりました。

歳入においては、景気悪化により町税収入が大幅に減少しましたが、地方交付税の増額や国の経済対策の交付金により、全体としては前年度対比6.3%の増額となりました。

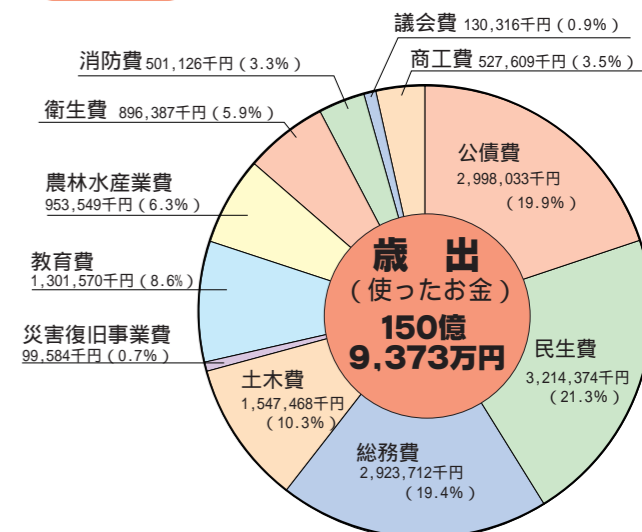
歳出においては、人件費、公債費は減少したものの、20年度から21年度にかけての国の経済対策交付金事業や定額給付金給付事業等により、全体としては前年対比8.2%の増額となりました。

将来に亘って不安のない財政基盤を確立するため、引き続き行政改革の推進など、財政の健全化に取り組んで参ります。

歳入



歳出



◆収支の状況

平成21年度の一年間に、町に入った金額（歳入）159億735万3千円から、使った金額（歳出）150億9,372万8千円を差引いた額（形式収支）は、8億1,362万5千円で20年度から21年度への繰越事業に必要な額4,750万8千円を差し引いた7億6,611万7千円が実質的な黒字額（実質収支）となりました。

○地方交付税は、1億6,367万7千円の増（前年度比2.6%増）

市町村間に生じる財政力の格差を調整するために国から交付されるのが地方交付税です。普通交付税は町税の減収の補てんや21年度に「地域雇用創出推進費」が新たに創設されたことなどから増額となりました。また、特別交付税は国全体の総額が2.7%増額となり、総額は昨年に引き続き増額となりました。普通交付税と特別交付税合わせた地方交付税額は前年度より1億6,367万7千円増額の6億4,541万1千円となり歳入全体の40.5%と大きな割合を占めています。

皆さんが納められた町税は2億3,318万6千円で歳入の13.4%を占めており、様々な事業を実施するための貴重な財源となっています。

ただ、町税をはじめ独自に確保できる自主財源は、全体の26.9%となっており、依然として国や県などへの依存度が高くなっています。

町税21億3,318万6千円の内訳

固定資産税	1,133,228千円 (47.2%)
町民税	814,014千円 (42.8%)
たばこ税	132,225千円 (7.0%)
軽自動車税	69,209千円 (2.8%)
その他の税	4,510千円 (0.2%)

水道事業会計決算状況

水道料金が支える水道事業

私たちの生活に欠かせない水道水をご家庭にお届けする水道事業は、皆様からいただいた水道料金を主な財源として、独立した会計で運営しています。

平成21年度の決算においては、上水道事業20、261千円、簡易水道事業25、959千円の当年度純利益となりました。

快適で豊かな生活を提供するため、さらに充実を図ってまいります。また、健全な運営と財政基盤の確立は、ひとえに皆様が使用された水量によって確保されていくことから、水道事業に対する一層のご理解とご協力をお願いいたします。



【上水道事業】

収益的収支（経営状況）

収入(147,381千円) 単位：千円

水道料金	141,935	その他の収入	5,446
------	---------	--------	-------

支出(127,120千円)

営業費用等	41,089	減価償却費	45,374	職員給与	31,468	借入金利息	9,189	純利益	20,261
-------	--------	-------	--------	------	--------	-------	-------	-----	--------

資本的収支（建設工事等）

収入(34,233千円) 単位：千円

企業債	10,000	負担金	24,233	損益勘定留保資金	75,192
-----	--------	-----	--------	----------	--------

支出(109,425千円)

建設改良費	71,069	借入金償還金	29,752	開発費	8,604
-------	--------	--------	--------	-----	-------

【簡易水道事業】

収益的収支（経営状況）

収入(243,549千円) 単位：千円

水道料金	217,819	補助金	22,789	その他の収入	2,941
------	---------	-----	--------	--------	-------

支出(217,590千円)

営業費用等	75,102	減価償却費	74,960	職員給与	35,888	借入金利息	31,640	純利益	25,959
-------	--------	-------	--------	------	--------	-------	--------	-----	--------

資本的収支（建設工事等）

収入(94,976千円) 単位：千円

負担金	94,976	損益勘定留保資金	115,625
-----	--------	----------	---------

支出(210,601千円)

建設改良費	55,863	借入金償還金	143,699	開発費	11,039
-------	--------	--------	---------	-----	--------

資本的収入の不足分は、損益勘定留保資金（減価償却費などの現金支出を伴わない経費を蓄積した資金）で補てん

○基金（貯金）の残高は、7億1,686万1千円増額（前年度費31.9%増）

町の基金には、不況等による大幅な減収や、災害の発生等による支出増の備えとして「財政調整基金」、町債（借金）の返済に充てるための「減債基金」、その他、特定の目的のために積み立てている特定目的基金があります。21年度決算で財政調整基金の残高は18億1,877万7千円で、前年度末に比べ、3億3,111万5千円増額となり、減債基金は1億5,181万1千円で、前年度末に比べ1億159万9千円の増額となりました。また特定目的基金においては新たに、子ども健やか育成基金、地域活性化・公共投資臨時交付金事業基金を創設して、合計残高は9億9,460万3千円で、前年度末に比べ、2億8,558万6千円の増額となりました。

◆基金の状況（21年度末）

(単位：千円)

区	分	20年度末残高	21年度取り崩し額	21年度積立額	21年度末残高	
積立基金	財政調整基金	1,487,662	△444,500	775,615	1,818,777	
	減債	減債基金	51,652	—	100,159	151,811
		住宅新築資金等貸付町債償還基金	536	—	1	537
	特	退職手当組合調整特別負担金基金	87,878	—	70,297	158,175
		町営住宅建設等基金	84,165	△3,300	261	81,126
	定	役場庁舎建設基金	215,199	—	180,908	396,107
		一般廃棄物処理施設維持補修基金	123,857	△30,000	504	94,361
	目	電源立地地域対策交付金事業基金	44,446	△4,000	12,006	52,452
		ふるさとさつま応援基金	2,358	△2,330	2,131	2,159
	的	災害復興基金	70,000	—	223	70,223
		地域活性化・生活対策臨時交付金事業基金	81,114	—	—	0
		子ども健やか育成基金	—	—	100,000	100,000
		地域活性化・公共投資臨時交付金事業基金	—	—	40,000	40,000
合	計	2,248,867	△565,244	1,282,105	2,965,728	

◆普通建設事業

実施した主な普通建設事業は、道路、農業基盤整備をはじめ次のとおりです。

- 無線放送施設整備事業（18公民会）1,957万8千円
- 介護福祉施設整備事業（ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ-設置）2,021万5千円
- 合併処理浄化槽設置整備事業（151基）5,504万4千円
- 農産物加工センター整備事業 2,452万4千円
- 伝統工芸センター整備事業 2,337万7千円
- 公営住宅整備事業 3,252万8千円
- 消防施設整備事業 5,874万4千円
- 消防タンク車購入、消防車庫新築工事
- 小学校屋根改修事業 1,408万7千円
- コミュニティー施設整備事業 3,257万5千円
- 薩摩農村環境改善センター、鶴田・神子地区コミュニティーセンター
- 給食センター設備整備事業 1,134万円

特別会計

町の予算には、一般会計のほかに6つの特別会計があります。決算の状況は次のとおりです。

国民健康保険事業	老人保健医療	後期高齢者医療	介護保険事業	介護サービス事業	農業集落排水事業
歳入総額 34億5,406万7千円	歳入総額 2,301万3千円	歳入総額 2億9,275万8千円	歳入総額 26億9,591万3千円	歳入総額 1,945万7千円	歳入総額 4,767万1千円
歳出総額 32億2,977万8千円	歳出総額 882万円	歳出総額 2億9,119万円	歳出総額 26億4,070万4千円	歳出総額 1,920万3千円	歳出総額 4,407万2千円
差引額 2億2,428万9千円	差引額 1,419万3千円	差引額 156万8千円	差引額 5,520万9千円	差引額 25万4千円	差引額 359万9千円

水道施設管理人及び水道メーター検針員の募集

さつま町水道事業では、平成23年4月から勤務していただく水道施設管理人及び水道メーター検針員を募集します。

- 応募資格 町内に居住し、満18才以上70才未満の方（学生は除く）
- 業務内容 水道施設管理人 水源地等の施設監視、報告等（普通免許要）
水道メーター検針員 水道メーターの検針、漏水等の報告（原付免許以上要）
- 募集人員 水道施設管理人 5名
水道メーター検針員 若干名
- 賃金等 水道施設管理人 月15日程度
水道メーター検針員 若干名
半日出勤地域5、500円
水道メーター検針員 原則毎月1日～10日まで 1件60円
- 募集期間 平成23年1月17日（月）～1月31日（月）まで
- 申込方法 水道施設管理人 ハローワーク宮之城で発行される紹介状と履歴書、申込書を添えて、さつま町水道事業（役場水道課）へお申込ください。
水道メーター検針員 履歴書と申込書を添えて、さつま町水道事業（役場水道課）へお申込ください。

あなたの相談をお聞きします 新民生委員・児童委員・主任児童委員の紹介

新しい民生委員・児童委員・主任児童委員95名をご紹介します。
任期は、平成22年12月1日から平成25年11月30日までです。
退任されました皆様ご苦労様でした。
新委員の皆様よろしくお願ひします。(敬称略)

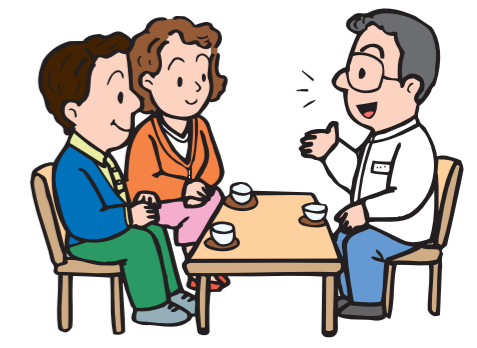
◆民生委員・児童委員

地区名	氏名	担当公民会	
宮之城中央	春田祐子	城之口	
	永田まり	五日町	
	橋之口恵美子	ウッドタウン・観月台	
	新森京子	町頭・ホープタウン	
	大園マサ子	上仲町	
	清水美恵子	天神	
	木下エミ	屋地馬場・八幡馬場	
	小島英彦	愛宕	
	神園美子	川原町	
	桑元行弘	東谷	
	東條さつえ	中央(前)	
	宮田和子	中央(中)	
	桑本久美子	中央(後)	
	有川純義	旭・船木東	
宮之城西部	外越照久	船木西	
	宮原清	船木下	
	永田隆生	虎居町	
	有村富久美	東町	
	片野楨子	西町	
	大平ヒロ子	轟原(上)	
	金丸美佐子	轟原(下)	
	中野幸男	虎居馬場	
	出石和代	西手東・西手西	
	竹林和江	上向・上向中	
	甫立いつ子	虎居大角・甫立	
	上野チミ子	日当瀬・海老川・下川口	
	山口岩男	一ツ木	
	中間實	時吉区	
宮之城東部	瀧田壽彬	湯之元	
	得永哲也	湯田上・西湯田原	
	大平スエ子	湯田中・湯田下	
	米丸保恵子	木波	
	瀬戸口康男	前目・仮屋原	
	深川寛人	ほたる	
	池之野広美	池之野・広瀬	
	宮之脇加代子	さくら・上寺下	
	河野修一	豆漬・布田	
	平野成夫	あながわ・田原	
	鶴田	黒木照代	山崎中・山崎上
		岩山秀子	古野・山崎町・草田
		永福肇	荒瀬
		川畑廣子	北原・大長
大園良正		角郷	
城ヶ峰勝子		久富木町・大畝町	
本村寛		二渡町	
水流貞夫		二渡・折小野	
徳留律子		須杭	
別府逸子		柵野区	
今村俊明		下平川	
中園秀人		上平川	
有川和子		大薄下	
大薄けい子		大薄上	
久徳スミ子	白男川中・築原		
内村正子	浅井野		
三腰佑昭	泊野高峰・きらら(久木野)		
市野朋子	きらら(泊野上・宮田)		
平島はつ子	上場・大平		
小丸サツ子	東・浦川内・山神		
柳田博満	鶴田南		
祁答院優子	鶴田大角・上手・鶴田町		
鎌田スミ子	東善寺・城内		
川畑裕之	麓・東湯田原		
東郷美恵子	湯田原・櫃ヶ迫		
上大迫ユキ子	大野・上下大迫		
柳田順子	高嶺・中間		
中村金次郎	新田・栗野・大俣・柳野		
四位幸雄	上川口・市場		
橋之口和代	諏訪下・種子田		
杉水流安美	小路下手・大願寺		
外園一幸	下京塚原・京塚原		
白坂優子	紫尾下		
西恵貴敏	紫尾中		
小久保伸代	紫尾上		

地区名	氏名	担当公民会
薩摩	外園良幸	上狩宿・下狩宿
	岩崎友治	熊田
	七搦巧	橋掛・搦・境田
	四位稔	求名町
	今東晴夫	黒鳥・広橋
	蕨野紀子	戸子田
	下大迫紀子	上中福良・下中福良
	東キヨ子	下手
	手島喜代子	岩元・新地・駒ヶ段
	伊尻光邦	吉川・仕明
	川宿田益夫	南川
	平一行	築平・下別府
	橋口昌子	新町
	高橋愛子	金山
	森永博子	尾原
	神原幸恵	武白猿
堂園和子	北方町	
田畑俊嗣	弓之尾	
久保斎	別野	

◆主任児童委員

木原 実久	宮之城地区
外園 けい子	鶴田地区
島子 興喜	薩摩地区



民生委員・児童委員 社会奉仕の精神を持って、生活に困っている人、児童・心身障害者(児)・高齢者・母子(父子)世帯等援護を必要とする人々の相談指導を行います。

主任児童委員..... 地域において児童福祉に関する事項を専門的に担当する児童委員です。従来の区域を担当する児童委員と一体となった活動を展開し、児童福祉の向上を図ります。

民生委員・児童委員・主任児童委員の方々は、相談業務が仕事です。困っていることがありましたら、お気軽にご相談ください。

民生委員

児童委員ってなに？

民生委員は民生委員法で設置が定められ、厚生労働大臣から委嘱されます。

また、県知事からも委嘱され、町長からは、社会調査員として委嘱されます。

民生委員は、児童委員を兼ねており、厚生労働大臣が定める基準をもとにした世帯数に応じて地域(区域)を担当し、任期3年となっています。

民生委員・児童委員には守秘義務があり、住民の立場に立つて住民との信頼関係のもとに活動しています。

どんな役割があるの？

少子・高齢化が進み、家族関係や地域社会におけるつながりが薄れてきているなか、住民同士が支え合いながらも安心して住み続けることができる地域づくりが求められています。

そうしたなか、「常に住民の立場に立つて相談に応じ、必要な援助を行う民生委員・児童委員(主

任児童委員)の役割がますます重要になってきています。

どんなことをするの？

住民の生活状態を適切に把握し、援助を必要とする人に相談や助言、援助を行います。また、福祉サービスについての情報提供などの援助を行います。関係行政機関の業務に協力し、社会福祉事業や活動への支援、住民の福祉の増進を図るために活動を行います。このよう民生委員・児童委員の役割を一言で言うならば、「地域のつなぎ役」です。なお、民生委員・児童委員の活動には、次の7つの「はたらき」があります。

1、社会調査のはたらき

担当区域内の住民の実態や福祉需要を日常的に把握します。

2、相談のはたらき

地域住民がかかえる問題について、相手の立場に立ち、親身になって相談ののります。

3、情報提供のはたらき

社会福祉の制度やサービスについて、その内容や情報を住民に的確に提供します。

4、連絡通報のはたらき

住民が、個々の福祉需要に応じた福祉サービスが得られるよう関係行政機関、施設、団体等に連絡し、必要な対応を促すパイプの役割をつとめます。

5、調整のはたらき

住民の福祉需要に対応し、適切なサービスの提供が図られるように支援します。

6、生活支援のはたらき

住民の求める生活支援活動を自ら行ない、支援体制をつくっていきます。

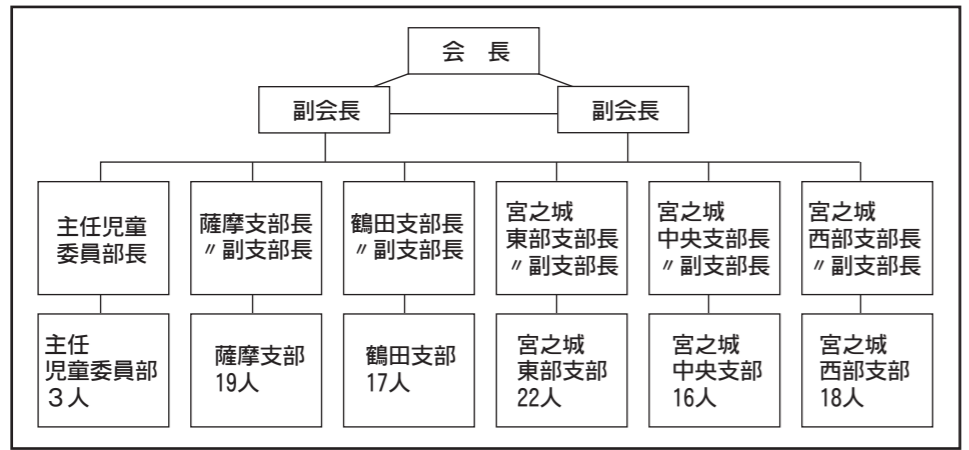
7、意見具申のはたらき

活動を通じて得た問題点や改善策についてとりまとめ、必要に応じて民生委員児童委員協議会とおして関係機関などに意見を提起します。

町内では？

活動母体として、さつま町には、民生委員児童委員を構成員とする組織「さつま町民生委員児童委員協議会」が設置されています。

民生委員児童委員は、地域のボランティアとして自発的・自主的な活動行っており、無報酬です。



しかし、さつま町民生委員児童委員協議会から活動手当として、月に5,000円、各種の会費として1回当たり5,000円が支給されています。

■さつま町民生委員児童委員協議会組織及び機構

薩摩竹燈籠物語

第4回みやんじよ温泉 竹ホタル(竹灯ろうまつり)

12月3日から5日までの3日間、湯田の八幡神社前町道沿い一帯で「みやんじよ温泉竹ホタル(竹灯ろう)」が点灯され、多くの見物客が訪れました。竹灯ろうが設置されるまでには、竹の切り出し作業から結束作業、通りへの設置作業まで、地域住民やボランティアなど多くの方々の協力によって設置されました。



竹林の中に設置された、竹灯ろう



「みやんじよ温泉」の文字が施された、竹灯ろう

今年も、7千本の竹灯ろうに明かりが灯され、通りは、ろうそくの温かみのあるオレンジ色の幻想的な光に包まれ、訪れた見物客を魅了しました。実行委員長の栗田博穂さんは、準備は大変だけれど、竹のまちを象徴するイベントとして、今後も区民のみなさんと力を合わせて続けたい。」と話されました。

秋の叙勲受章を報告

榎山健一さん

平成22年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章された元さつま町消防団団長の榎山健一さん(71)が町長室を訪れ、日高町長に受章の報告をされました。

榎山さんは昭和36年に旧宮之城町消防団に入団以來、48年の永きにわたり、災害現場の第一線で活躍されました。

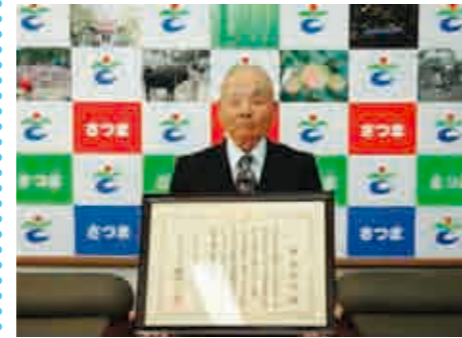
この間、平成5年から旧宮之城町消防団団長を、平成17年の市町村合併後はさつま町消防団の初代団長として、消防団の基盤づくりにも多大な貢献をされ、同時に、災害現場での活動や団員の指導育成、消防技術の向上に尽力され、その功績が認められたものです。



受章された榎山さん

エイジレス・ライフ表彰

諏訪親代さん



受賞された諏訪さん

内閣府では、長寿社会における生き方の模範として、エイジレス・ライフ実践者を全国に紹介しています。

今年度、中津川区の諏訪親代さんが、昔の手作りの道具を将来に伝えていくことで、「自然のありがたみ」を感じてもらいたいとの思いで始められた活動が評価され、「エイジレス章」を受賞され、県庁の副知事室で内閣府特命担当大臣からの表彰状と楯の贈呈を受けられました。

受賞された諏訪さんは、「今後も元気が続く限り子供たちにいろいろなことを教えていきたい」と話されています。



持久走大会を終えて、みんなで記念撮影

海を越えて 友達がやって来た!

柘野小学校

12月2、3日にかけてアメリカから高野クリストフ君(11)親子が柘野小学校を訪ねました。アメリカの大学院で企業の教育支援について研究している、オハイオ州在住で母親の高野かおりさんから昨年同校にメールが届いたのが交流の始まりでした。2日間で、授業や持久走大会、PTAとの懇親会など、親子で柘野を堪能しました。

クリストフ君は「柘野小の友達とサッカーなどをしてとても楽しかった、持久走大会では1番になったことより、みんなと走ることでできてうれしかった」と感想を話しました。

優良読書グループ表彰

いもむしの会

流水小学校親子読書会「いもむしの会」が鹿児島県図書館協会から優良読書グループの表彰を受けました。

いもむしの会は、平成6年に結成され、月1回の定例会や各種大会で研究発表や読み聞かせ会を実施されています。特に平成22年は流水小学校が発祥の地である「親子20分間読書」50周年と国民読書年を記念した講演会等を開催されています。

また、2月20日開催の町民大会のオープニングでその成果が3世代による読み聞かせとして披露される予定です。



表彰を受ける代表者の日高昇会長(右)

本物に触れる!

子どものための優れた舞台芸術体験事業 柏原小学校

12月8日、柏原小学校で「劇団風の子九州」による児童劇公演が開催されました。

これは、文化庁が主催する、子どものための優れた舞台芸術体験事業の一環として行われたもので、町内では柏原小学校だけの開催となりました。

公演の途中には同校児童の出演する場面もあり、体験をしながら楽しく観賞できました。

4年生の今村将也くんは「とてもおもしろい劇で、すこく演技が上手だった。一緒に演じることができて楽しかった」と感想を話しました。



一緒に演技をする柏原小学校児童

生き物から「食」の大切さを学ぶ

紫尾小学校PTA



パン作りをする参加者

紫尾小学校PTAでは、11月28日に児童・保護者・教職員など43人が、鹿児島市喜入町の「きいれ牧場」で食育体験を行いました。

同校では、今年度「早起き・朝ごはん」運動に取り組んでおり、その活動の一つとして行われたものです。

体験では、搾りたての牛乳を使ったパン作りや牛に関するクイズ、聴診器を使って鶏の心音を聴くなど様々な体験が行われました。今回の取組をおして、親子で食の大切さを知り、食の命をいただく事「生き物の命をいとなりました。」

自信作がズバリ!

町高齢者連合会野菜品評会

11月7日、町高齢者クラブ連合会主催の野菜品評会が宮之城ひまわり館で開催され、町内18の単位クラブから95人、347点の野菜が出品され、審査が行われました。審査の後は野菜の即売会が開催され、多くの購入者にぎわいました。主な成績は次のとおりです。(敬称略)

- ()は単位クラブ名
- 白菜の部 金賞
- 原田長美(上平川老人会)
- 大根の部 金賞
- 中園敏夫(二友会)
- 中園稔(上平川老人会)
- キャベツの部 金賞
- 園田秀明(佐志南老人クラブ)



審査会の様子



町内で花屋を営む福元さんの指導を受ける児童

花に親しむ!

フラワーアレンジメント教室 鶴田小学校

11月16日、県フラワー協会主催による「フラワーアレンジメント教室」が鶴田小学校で開催されました。これは、平成8年から始まった鹿児島県の「花とふれあい事業」の一環として行われたもので、この日は6年生22人が制作に取り組みました。

作品を作り上げた三角憩世さんは「初めての経験で最初はよく分からなかったけれど、指導の先生に丁寧に教えていただき、思ったよりうまくできました。早く家に持って帰って飾りたいです」と感想を話しました。

秋の「さつま」を満喫

第6回さつまつフェスタ

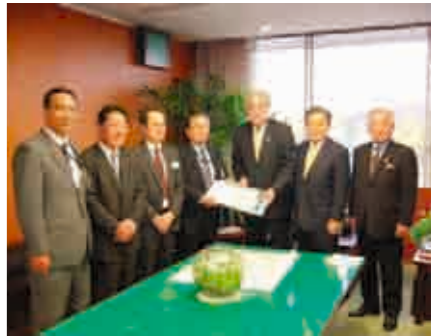
11月21日、薩摩総合運動公園で「第6回さつまつフェスタ」が開催され、約13,000人の来場者でにぎわいました。

当日は、楽しいステージショー、たくさんの方の農産物や特産品の展示即売、上棟式、親子で楽しめるゲーム、ちくりん大鍋の無料配布など盛りだくさんの内容で行われました。

また、今年は商店街グルメ1を競う「S1グランプリ」や口蹄疫の影響による不況を吹き飛ばそうと、焼肉4,000食分が振舞われ、長蛇の列ができるなど大盛況となりました。



盛況だった焼肉コーナー



要望書を手渡す日高町長

国土交通省への要望

道路の整備促進

12月2日、国土交通省において、地域高規格道路「北薩横断道路」の整備促進及び国道328号の整備促進のための要望活動が、池口修次国土交通副大臣に對して行われました。

地域高規格道路「北薩横断道路」の整備促進については、主に、鹿児島空港から北薩空港道路間及び薩摩道路から泊野道路並びに、紫尾道路から南九州西回り自動車道阿久根北IC間の調査区間への早期格上げを図るよう、強く要望しました。

また、国道328号の整備促進については、整備に必要な財源の確保と南九州西回り自動車道へのアクセス道路としてのバイパス建設の整備促進を要望しました。

第5回町花まつり

薩摩寒蘭展示大会

11月19日から21日までの3日間、宮之城総合体育館において、薩摩寒蘭同好会（会長 小島泰秀）主催による「第5回さつまつ町花まつり」が開催され、150鉢が出品されました。まつりは、本町の町花である薩摩寒蘭の展示、審査、表彰等が行われ、町内外から訪れた多くの愛好者で賑わいました。

また、薩摩寒蘭の普及のため、100鉢の苗の無料配付が行われ、来場した愛好者には大好評でした。主な入賞花は、次のとおりです。（敬称略）

- 総合優勝 しび
- 南原 守（さつま町）
- 総合準優勝 神竜
- 大迫文孝（薩摩川内市）
- 総合準優勝 大神
- 西田善浩（さつま町）



熱心に観賞する参加者

祝アジアチャンピオン

城南一和フットボールクラブ

求名のインターナショナルフットボールクラブ（以下「IGJR京セラ」）で、2年連続で春季キャンプを行っている韓国プロサッカーチーム、城南一和が、11月13日に東京の国立競技場で行われたアジアチャンピオンズリーグの決勝戦で勝利し、見事、アジアのクラブチームナンバーワンに輝きました。

11月29日には、春季キャンプを行っているIGJR京セラから町長へ、優勝の報告と優勝記念のシャツが贈られました。



優勝記念シャツを持つ日高町長(左)とIGJR京セラ神原さん

共栄・協働のまちづくり委員会

永野区まちづくり委員会

平成22年度豊かな暮らしづくり全国表彰事業九州ブロック表彰が熊本県高森町で開催され、永野区むらづくり委員会が九州農政局長賞を受賞しました。

これは、永野ウオーキング大会の取組みやこれらを支えた「結い・きらめき会」（女性グループ）などの活動が高く評価されたものです。



受賞後の記念撮影(前段左から3人目が永野区原館長)

介護の日」にちなんで

薩摩中央高校福祉科



高齢者と生徒と一緒にゲームする様子

12月6日、轟原公民館で轟原公民会のふれあい・いきいきサロンの参加者と薩摩中央高校福祉科の生徒との交流会が行われました。

これは、11月11日の「介護の日」に即した行事として行われたもので、交流会は約50人の参加者で賑わいました。

交流会では、福祉科の生徒が実習した成果や、ゲーム・演舞などが披露されました。会に出席した高齢者から「元気をもらった」とか「30歳くらい若くなった」とか「感謝の言葉で溢れていました。」

現場で学ぶ

れいめい高校工学科

12月7日、現在建設中の地域高規格道路「北薩横断道路」北薩トンネルの工事現場で、れいめい高校工学科1年生を対象に現場見学会が行われました。

見学会では、北薩地域振興局建設部の職員から道路の概要などについて説明を受けた後、施工業者からトンネルの工法などについて説明を受けました。

大型の掘削機械の置かれた薄暗いトンネル内部にはヘルメットにマスク姿で入り、施工中の断面など、説明を受けながら見学しました。



トンネル内部で説明を受ける様子

もつとニュース

介護家族者のつどい



講話の様子

11月25日、いぬまき荘で在宅介護をしている家族が参加した「介護家族者のつどい」が開催されました。

当日は、「認知症の人と家族の会」代表の水流涼子氏と立志病院 立志公和院長の講話などがあり、日頃の介護に対する悩み・相談やアイデアを出しあいながら交流を深めました。

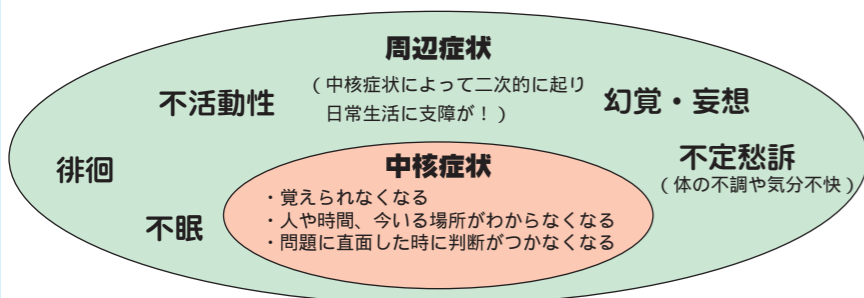
認知症シリーズ③ 「認知症の種類・症状は？」

■さつま町地域包括支援センター■

「認知症」の8割は、アルツハイマー型と脳血管性です。

- ①アルツハイマー型：脳に特有の変化で、脳の萎縮（縮む）が起こる病気です。65歳未満で発症すると「アルツハイマー病」と言われています。
- ②脳血管性：高血圧、脳卒中（脳梗塞や脳出血で、脳の血液の流れが悪くなったり、脳の血管が切れたりして）などが、発症の原因です。
- ③その他：慢性硬膜下血腫、脳腫瘍、正常圧水頭症、薬の副作用などで起きます。

「認知症」には中核症状と周辺症状があります



さつま町地域包括支援センター
さつま町宮之城屋地2030番地
保健師や社会福祉士が相談にあたり、認知症患者医療センター（宮之城病院）と連携します。
電話0996-52-4690
（直通、月～金曜日、8時30分～17時）

認知症患者医療センターでも相談できます
（宮之城病院内）さつま町船木34番地
専門のソーシャルワーカーや看護師が認知症に関するお困りごとの相談を受けています。
電話相談 0996-53-1005
（直通、月～金曜日、9時～17時）
来所相談 相談者の方のみの来所でも結構です。
（あらかじめお電話ください）

■町職員の給料と賞与（ボーナス）及び特別職・町議会議員の賞与（ボーナス）を前年に引き続き減額しました

職員の給与と民間給与との較差を解消するため、昨年11月の臨時議会で「さつま町職員給与に関する条例」等の一部を改正し、中高年齢層が受ける給料月額と賞与の支給割合の引き下げを前年に引き続き行いました。

(1)町職員の給料の減額について

給料表の引下げ平均改定率（中高年齢層が受ける給料月額を 0.1%）
 給与改定（給料引き下げ）H22年12月から実施
 町職員の削減総額 746千円.....(A)
 給与改定に併せ、民間給与との較差を解消するため、次の減額調整を実施しました。
 平成22年4月から11月に支給された給与月額に0.21%を乗じて得た額と6月に支給された賞与（ボーナス）に0.21%を乗じた額を12月の賞与から減額しました。
 町職員の減額総額 1,769千円.....(B)
 年間削減額（給与）(A) + (B) = 2,515千円

(2)賞与（ボーナス）の年間支給割合の引き下げ及び削減額

特別職・町議会議員 年間3.10月分 2.95月分（年間 0.15月分減額）
 削減総額 1,037千円(C)
 町職員 年間4.15月分 3.95月分（年間 0.20月分減額）
 削減総額 27,287千円(D)
 年間削減総額（賞与）(C) + (D) = 28,324千円

※町職員1人当たりの年間給与の平均減額 約△91,000円

特別職、町議会議員のこれまでの取り組み状況（給料等の特別減額）

特例条例による減額（H22.4月～H23.3月）
 特別職（町長、副町長、教育長）の減額総額 2,476千円
 町議会議員の減額総額 1,831千円
 特別職の給料、町議会議員の報酬は、平成22年4月から23年3月迄の期間特例の条例を定めて次のとおり実施しています。
 町長20%、副町長5%、教育長3%、議会議長5%、副議長3%、議員3%

みゃんじょ吹奏楽フェスタ 開催のお知らせ

「さつま町みゃんじょ吹奏楽フェスタ2011」を、今年も盛大に開催します。元氣いっぱい小学生から、全国レベルの「宮之城吹奏楽団」まで、吹奏楽の町「さつま町」の演奏家たちが一堂に会し、各団体の演奏はもとより、合同演奏でも皆さんを魅了します。

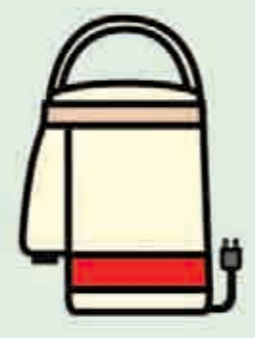
また、今回は、さつま町5周年記念として、吹奏楽によるさつま町民首頭の演奏と一般から募集した踊り手と観客による合同ステージを計画しています。

ご家族・ご友人お誘い合わせの上、ぜひお気軽にご来場下さい！

日時	平成23年1月30日(日)
	午後2時開演
場所	宮之城文化センター
入場料	無料
参加団体	鶴田小学校器楽部・盈進小学校吹奏楽部・宮之城中学校吹奏楽部・薩摩中学校吹奏楽部・薩摩中央高校吹奏楽部・宮之城吹奏楽団・さつま町にゆかりのある吹奏楽経験者（高校生・一般）・踊り手（一般公募）
お問い合わせ先	さつま町教育委員会 文化課（内線2551）

省エネクイズ

〜電気ポット編〜



お湯を沸かすために使用する電気ポットで、満タンの水2.2リットルを入れ、沸騰させて、1.2リットルを使用後、6時間保温状態にした場合と、プラグを抜いて保温しないで再沸騰させて使用した場合とでは、どちらが省エネになるでしょうか？

答え！
 長時間使用しないときはプラグを抜く方が、年間に107.45kWhの電気量の省エネにつながり、約2,360円の節約になります。

<省エネヒント>
 保温は、低めの温度に設定し、必要なときにその都度再沸騰させましょう。長時間使用しないときは、プラグは抜きましょう。つけっぱなしは大敵です。

参考：(財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典2010年度版」

〜〇〇ばなしはしない！〜 エコまめのすゝめ
 “つけっぱなし”・“出しっぱなし”には、要注意！
 こまめに、つけたり・出したりしましょう。

今回は、地球温暖化対策として、主に省エネについてお伝えします。

私たちが日常生活で消費するエネルギーの大半は、石油や石炭を燃やすことによつて得られています。これに伴つて、大気中に二酸化炭素が排出されますが、エネルギーが大量に消費される現代では、二酸化炭素濃度が上昇することで大気中に熱が封じ込められる温室効果現象が進み、地球温暖化が深刻化しているといわれています。

深刻な地球温暖化にストップをかけるためには、一人ひとりが大きな視点から問題意識を持ち、気付き、身近なところからコツコツと取り組んでいくことが大切です。

こんにちは保健師です 健康さつま21

冬の食中毒、ノロウイルスにご注意を！


食中毒といえば夏に起こりやすいのですが、「ノロウイルス」による食中毒は、冬場に多く、乳幼児から高齢者まであらゆる年齢の人に見られます。

ノロウイルスはごく少量で食中毒症状を引き起こす強い感染力を持つウイルスです。感染すると、1～2日後に、おう吐、発熱、下痢などの症状が現れます。


また、乾燥したおう吐物などに含まれているウイルスが、ちりやほこりなどを介して体内に入り、感染性胃腸炎を引き起こすこともあります。

—感染予防の三つのポイント—

①カキ・シジミなどの二枚貝は十分に加熱を85度で1分以上、中心までしっかり加熱をしましょう。




②調理・食事の前トイレの後は手洗いをしっかりと



ウイルスに感染しても症状が出ないことがあります。手洗いが不十分なままだと、周囲に感染を広げたり食中毒を引き起こしたりすることがあります。

③おう吐物などを片付けた後は、塩素で消毒を



片付けの際には、マスクやゴム手袋などの着用を。その後のウイルスの広がりを防ぐため、家庭用塩素系漂白剤などで消毒しましょう。

我が校の特色ある教育活動

町内の小中学校では、どの学校も町長マニフェストを踏まえた特色ある教育活動が行われています。各学校の取り組みを、毎月2校ずつ紹介していきます。今月は、盈進小学校と山崎中学校です。



別府伸一 校長

校訓 「盈して進む」
本校のキャッチフレーズ
心豊かな子(徳)・かしい子(知)・たくましい子(体)
児童530人 20学級 職員32人 PTA395戸



林 博光 校長

校訓 自主・探求 健康・友愛 勤労・奉仕
本校のキャッチフレーズ
「生徒一人一人が主役の山崎中」感動「鍛錬」創造
生徒47人 3学級 職員14人 PTA44戸

盈進小学校

1 確かな学力の定着への取組と外国語教育への積極的な取組

チャレンジタイムと名付けた朝の基礎基本定着の時間には、計算や漢字ドリルを中心とした時間を設定しています。また、授業における「まとめ10分」を行い一時間の学習はその時間で確実に理解させることに努めています。さらに、来年度から本格的に実施される外国語活動においては、外国語教育指導員の先生と担任の二人で指導をしています。ゲームや外国の歌を取り入れた授業で楽しく外国語の基礎を学んでいます。



2 進んで本に親しむ子どもの育成



個別の年間読書目標冊数を設定させたり、読書月間を決めて様々な活動をしたり、朝の読書活動を取り入れたりと一人一人が読書習慣をつけるよう指導しています。また、町の推薦図書コーナーを設置したり、担任の先生以外の先生による読み聞かせしたり、読書カードを活用して家庭での読書習慣をつける活動を積極的に進めています。また、本校は読書グループ「あおばすくの会」が夏休み親子緑陰読書会を行ったり文化祭で親子読書の劇を上演したりと積極的な活動で、児童の読書意欲の向上に大いに役立っています。

3 保護者との連携による教育的活動

PTA活動は、6つの専門部を中心に積極的に行われています。また、本校には「せんだんの会」という全保護者が会員の「親父の会」があります。4月に校区内清掃とこのほり設置、12月に門松作りと餅つき大会。1月はたこ



山崎中学校

1 読書活動の充実を目指して

健康で明るく心豊かな子どもを育む目的で、朝読書はほぼ毎日実施しています。週に一度の校内放送による、全校一斉の「読み聞かせ読書」では、生徒の集中力アップにも十分役立っています。また、11月の校内読書月間には、読書目標とイラストを募集し校内に掲示する他、全校一斉読書(集団読書)の感想文を紹介するなど、読書に親しむ活動を子ども達自身が積極的に進めています。



2 学力向上を目指して



生徒一人一人の基礎学力の向上を目指した取組として、昼休みや放課後を使い個別指導や補充指導を行っています。また、自主学習の場として、放課後や長期休業期間を利用した「勉強苦楽部」があり、特に2学期からは、高校受験を控えた3年生が中心となり、日々勉強に励む多くの生徒の姿が見られます。その他、山崎小中学校では、小中連携として共通の研究テーマを設定し、相互間の研究授業等の実施や共通実践事項の確認作業を行いながら、9か月を見据えた教育活動の推進を図っています。

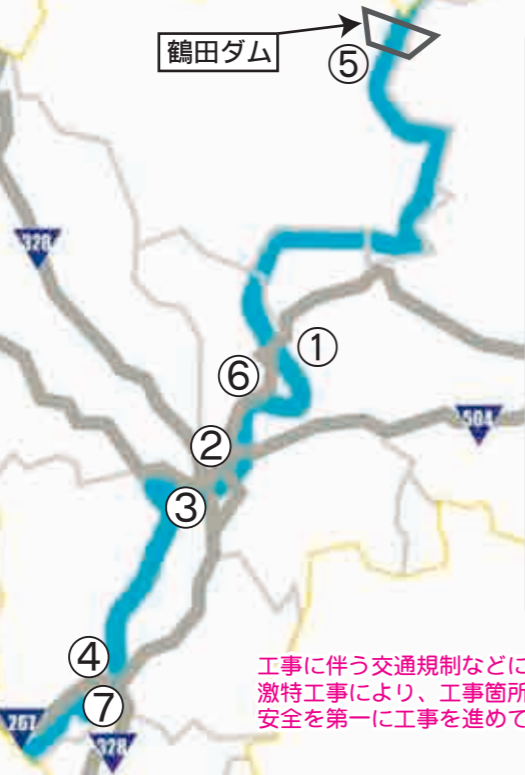
3 地域と連携した体験活動

地域の方々に対する感謝の念と奉仕の精神の育成を目的に、山崎地区公民館と山崎保育園においてボランティア活動(清掃活動)を行っています。また、3年生家庭科の授業の一環として、山崎保育園の協力のもと保育実習を行っています。この幼児とのかかわりは、幼児理解やふれあいの楽しさ、喜びを深める体験の他に、将来の職業選択を兼ねた進路学習にもなっています。これからも、体育大会や文化祭など行事を通して、地域の方々との連携を更に深めてまいります。



川内川激特・鶴田ダム再開発速報

【北薩地域振興局関連工事】
(平成22年12月10日現在)
柏原地区
・夜星川橋工事(2件)
・護岸・取付道路工事(3件)
虎居地区、宮之城屋地地区
・宮都大橋工事(8件)
山崎地区
・護岸・道路取付工事(7件)
・東橋工事(1件)
・山崎橋工事(4件)

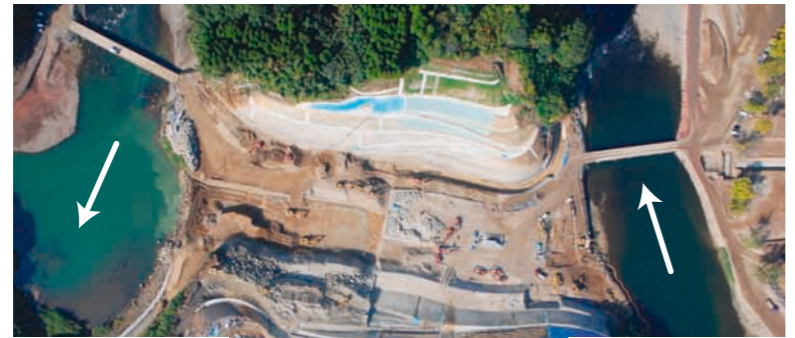


【国土交通省関連工事】
(平成22年12月10日現在)
激特事業関連工事 計29件
湯田地区
・築堤護岸工事(3件)・樋門工事(1件)
虎居地区
・築堤護岸工事(10件)
推込地区
・分水路掘削工事(6件)
・河道内掘削工事(1件)
二渡地区
・築堤工事(6件)・樋門工事(2件)
鶴田ダム再開発事業関連工事 計4件
神子地区
・工用道路関連工事(3件)
・法面処理工事(1件)

工事に伴う交通規制などについて(お願い)
激特工事により、工事箇所周辺の町道などで通行止めや混雑が予想されます。安全を第一に工事を進めてまいりますので、ご協力をお願いします。

《今月の現場写真》 場所： 推込分水路

推込分水路の掘削工事について、現在一部を残し計画低盤ラインまで掘削が完了しています。現時点でほぼ分水路の形がわかるようになってきました。今後、両側の巨石積み護岸等の施工をする予定です。



▼上流より撮影(H22.11)

▼下流より撮影(H22.11)



▲航空写真(H22.11末撮影)



お問い合わせ先

国土交通省川内川河川事務所 (0996)22-3271
激特事業に関すること 工務課 志賀 三智
鶴田ダム再開発事業工事に関すること 工事課 猪野和歌人
激特事業工事に関すること 宮之城出張所 宇都 薫
(0996)53-1756

鹿児島県北薩地域振興局 建設部
河川港湾課 河川砂防第2係 係長 木佐貫浄治
(0996)23-5151

■くらしの情報

消防本部
☎(52)0119

●火災危険増大！強風時のあぜ焼きに注意

これから、水田などのあぜ焼きのシーズンがやってきます。しかし、同時に空気が乾燥し、風も強く吹く時季でもあり、毎年このあぜ焼きを原因とした林野火災や枯草火災が多発しています。風の強い日は火をつけない。いったん火をつけたら完全に消えるまでその場を離れない。消火用具等の準備をしておく。などといった基本的な事項を守って山火事を防ぎましょう。

また、あぜ焼きをする時は、必ず役場(耕地林業課)で「火入れ許可」を受けてから実施しましょう。

●11月の火災・救急情報

火災	84件
急救助	79人
内訳	42件39人
急病	11件11人
交通事故	11件11人
その他	31件29人

町民課 町民係
内線2125

●20歳になったら国民年金！

国民年金は、すべての公的年金の基礎となるものです。日本国内にお住まいの20歳から60歳までの方は、公的年金に加入することが法律で義務づけられています。やがて訪れる長い老後や、生活の安定を損なうような「万が一」の事態に備え、保険料を出し合い、お互いを支えあう制度です。20歳になったら、忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう。

●国民年金保険料の納付は、便利・安心・確実な口座振替で！

国民年金保険料の納め忘れはありませんか？「忙しくて・・・」、「つい、うっかり・・・」といった理由でも保険料の納め忘れがあると、将来受け取る老齢基礎年金が減額されたり、受けられなくなったりします。また、万が一のときの障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられなくなる場合があります。そこで、国民年金保険

私たち南九州税理士会川内支部所属の税理士は、無料で確定申告書の書き方の指導と相談に応じています。

下記税理士の事務所
2月1日(火)～2月28日(月)

①確定申告相談【30分程度】…原則無料
②申告書作成……………有料

各税理士事務所にお電話でご予約下さい。(詳細は各事務所にお問い合わせ下さい。)

●相談対象者●
●小規模事業者等(事業者所得・不動産所得及び雑所得のある方で平成22年分の確定申告額前及び青色特別控除前所得金額が300万円以下で税理士関与のない方)
●給与所得者。年金所得者で税理士関与のない方(但し、所得が高額な方は除きます。)

浮田 直宏	薩摩川内市中郷町	27-1133	村岡 正敏	薩摩川内市入来町浦之名	44-2685
氏 郷 正	薩摩川内市鳥追町	22-4566	本宮 久男	薩摩川内市平佐町	27-4330
大久保和孝	薩摩川内市上川内町	22-7272	本村裕美子	薩摩川内市樋原町塔之原	37-2847
大山 豊秋	薩摩川内市平佐町	20-1800	山崎 宏	さつま町宮之城屋地	52-1688
奥 康 己	薩摩川内市中郷町	23-0720	山田 元彦	さつま町宮之城屋地	52-1580
木場 文幸	薩摩川内市東郷町斧洲	42-0814	吉田 龍也	さつま町轟町	52-2811
橋本 広一	薩摩川内市宮崎町	20-0314	米積 敏彦	薩摩川内市福善院町関牟田	31-8007
寺 脇 重	薩摩川内市御腰下町	23-0141	嶺 家利弘	薩摩川内市原田町	25-2377
富 鶴 一夫	薩摩川内市永利町	23-1583			
中牟禮 敏	薩摩川内市宮崎町	20-5836	税理士法人 氏郷・堀之内 税務会計事務所	薩摩川内市鳥追町	22-4566
肥後 昭信	薩摩川内市宮内町	23-9938			
平野 謙二	薩摩川内市田海町	30-0901	税理士法人 神野会計事務所	薩摩川内市中郷町	27-1133
外園 洋一	薩摩川内市大小路町	23-3541			
堀之内大和	薩摩川内市鳥追町	22-4566			

料の納付には、便利で安心、確実な口座振替をおすすめします。

口座振替をご希望の方は、納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印をお持ちのうえ、金融機関または川内年金事務所へ口座振替申出書を提出してください。

前納の申し込みは、1年度分及び上期6か月(4月分～9月分)は、2月末までに年金事務所必着となるようにお早めに申し込みください。

■基礎年金 3つの安心サポート

◇その1 老齢基礎年金
65歳から一生涯老齢基礎年金が支給されます。(終身保障)
平成22年度年金額 792,100円(満額)
20歳から60歳になるまでの40年間(480月)の全期間保険料を納めた方は、65歳から満額の老齢基礎年金が支給されます。

平成21年4月分からの保険料の全額が免除された期間については、保険料を全額納付した場合の

年金額の2分の1(平成21年3月分までは3分の1)が支給されます。保険料の未納期間は年金の対象期間になりません。会社員や公務員(厚生年金や共済組合に加入)だった方には老齢厚生年金や退職共済年金が上乘せられて支給されます。

老齢基礎年金を受けるためには保険料を納めた期間と保険料を納めた期間が最低25年間(300月)あることが必要です。

◇その2 障害基礎年金
国民年金加入中の病气やケガで重い障害を負われたとき障害等級表(1級・2級)による障害の状態にある間は障害基礎年金が支給されます。
平成22年度年金額(定額) 990,100円(1級) 792,100円(2級)
(注)子の人数によって加算があります。
(1人につき)2人目まで)227,900円、3人目以降75,900円)

◇その3 遺族基礎年金
国民年金の加入者が亡くなった時は、その方に

よって生計を維持されていた「子のある妻」又は「子」に遺族基礎年金が支給されます。
平成22年度年金額 1,020,000円
(妻と子一人の場合)
(基本額(定額)792,100円+子1人の加算額227,900円)
(注1)子が18歳到達年度の末日まで、又は障害がある場合は20歳まで支給されます。
(注2)妻に支給される場合は、子の人数によって加算があります。

障害基礎年金や遺族基礎年金を受けるためには、障害や死亡といった事故が発生する前々月までの公的年金の加入月数の2/3以上の期間について保険料が納付又は免除されていること、もしくは初診日又は死亡された日の属する月の前々月までの1年間に保険料の未納がないことが必要です。また、会社員や公務員であるときの障害や死亡の場合には、厚生年金や共済年金からも、基礎年金に上乘せられて年金が支給されます。

ちくりんスタンプ会イベント情報

スタンプを貼り終えた台紙に、貼ってご利用ください。このシールを貼ってある台紙はスタンプシールをプラス10枚差し上げます。

さつま町5周年記念 「とくとく商品券」(プレミアム10%) 好評発売中!

ちくりんスタンプ加盟店で「とくとく商品券」使ってお買物されますと、スタンプシール2倍差しあげます。2倍セール期間 ~平成23年2月28日

スタンプシール プラス 10枚
有効期限 平成23年1月31日

詳細は、ちくりんスタンプ会まで ☎53-1141(町商工会内)

薩摩郡医師会病院診療案内 (H22.12.8~)

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	神野	神野	宮原	神野	神野	
神経内科		花田	花田		花田	交代制
救急科	益崎	益崎	益崎	益崎		
循環器内科			福岡	堀之内(第2・第4)	早川	
消火器内科				倉元	倉元	倉元
外科	緒方	緒方		緒方	緒方	大学
整形外科	吉松	吉松	吉松	吉松		
泌尿器科	平川	平川	平川		平川	
放射線科	林田	平木		林田	林田	

*健診(人間ドック)、循環器内科、泌尿器科は予約制です。(TEL0996-53-0326)

教育委員会 総務課
内線2511

●旧宮之城中学校の呼称について

旧宮之城中学校跡地について、通称名を左記のとおりとしましたので、お知らせいたします。最初の学校跡 秋葉グランド 2番目(直前)の学校跡 屋地グランド

◇年金受給者への源泉徴収票の送付について!

日本年金機構では、平成22年1月から12月中に「老齢年金」を受け取られている方全員に平成23年1月末日までに源泉徴収票を送付しています。源泉徴収票は、所得税の確定申告や住民税の申告の時に必要なものなので大切に保管してください。もし、源泉徴収票を紛失された場合は、再発行ができますので、川内年金事務所まで申し出て下さい。

なお、「障害年金」や「遺族年金」については非課税ですので、源泉徴収票の送付はありません。

がんばれ 認定農業者!! シリーズ⑤⑥

さつま町船木

たけのうち しゅうき
竹之内 修樹さん 42歳



竹之内修樹さんは、平成13年3月に認定農業者として認定されました。現在、お茶6haを経営されています。「干ばつや霜害などの気象災害には特に気をつかう」と苦労を話される一方で「農業は責任が常についてまわるが、自分でやりたいようにできる」と農業の持つ魅力も話されます。茶業の傍ら地元消防団員や体育指導委員としても活動し、地域を支えている竹之内さんは「お客さんに喜んでもらえるお茶をつくりたい」と抱負を話されます。また「昔から“茶いっぺ”という言葉があるように、お茶を飲んで気分転換をしてから次の行動に取り掛かりましょう!」というお茶消費拡大のPRも忘れません。

町長交際費執行状況(11月分)

- 11月6日 99,225円 友好交流町中種子町町制施行70周年記念品
- 11月6日 3,396円 鶴宮三区消防後援会総会時
- 11月7日 80,830円 近畿さつま会総会時(祝金、地元産品及び会費)
- 11月14日 14,520円 町5周年記念式典時招待者記念品代
- 11月14日 128,260円 町5周年記念事業(鶴田町との交流会時)
- 11月16日 6,919円 関東地区企業訪問時地元産品代
- 11月19日 22,000円 誘致企業への地元産品代
- 11月23日 8,000円 町発達障がいに関する理解を深めるための講演会(意見交換会)時
- 11月29日 1,722円 災害危険区域に係る先進地研修時お礼
- 11月29日 7,875円 川内川改修促進期成会中央要望時地元産品代

- 30日(火) 当初予算編成説明会
- 29日(月) 町長と職員との意見交換会
- 28日(日) 山崎地区健康推進ネットワーク全体発表会
- 27日(土) 佐志区農林文化祭 国政報告会
- 26日(金) 川内川子ども環境ネットワーク全体発表会
- 25日(木) エイジレス表彰受賞報告(諏訪親代氏)
- 24日(水) 県消協協会薩摩支部総会(薩摩川内市) 川内法務局戸籍事務現地調査対応
- 23日(火) 県国土調査推進協議会要請活動(鹿児島市) 町水道運営委員会
- 22日(月) 安全祈願祭(さつま林産物) 河川事務所との協議
- 21日(日) 寒蘭同好会展示会・町花まつり みやんじょ五ツ太鼓まつり
- 19日(金) 町高年齢者クラブとの意見交換会
- 18日(木) 町戦没者追悼式 予算査定
- 17日(水) 町和牛振興大会 県議会議政視察対応
- 16日(火) 町戦没者追悼式 町長と職員との意見交換会
- 15日(月) 企業訪問(横浜市) 市町村職員共済長期給付資金委員会(東京都)
- 14日(日) 町5周年記念式典、郷土芸能祭及び「元気だまつりだ さつま町」
- 13日(土) TPP総決起大会 青森県鶴田町との友好交流協定締結式及び交流会
- 11日(木) 納税表彰式(薩摩川内市) 滞納整理指導官との意見交換
- 10日(水) 入札

- 11月1日(月) 朝会 3役調整会議
- 2日(火) 川内地区いきいきシルバースポーツ大会(薩摩川内市)
- 3日(水) 北薩空港幹線道路整備促進期成会(県土木部長への要望)
- 4日(木) さつまの焼酎お茶祭り試飲会(さつま町の焼酎、お茶、薩摩西郷梅PR)
- 5日(金) 叙位伝達(故古里信義氏)
- 6日(土) 中種子町制施行70周年記念式典(中種子町)
- 7日(日) 近畿さつま会総会(大阪市)
- 8日(月) KKBふるさとCM大賞グランプリ受賞祝賀会
- 9日(火) 入札
- 10日(水) 入札
- 11日(木) 納税表彰式(薩摩川内市)
- 12日(金) 滞納整理指導官との意見交換
- 13日(土) TPP総決起大会
- 14日(日) 町5周年記念式典、郷土芸能祭及び「元気だまつりだ さつま町」
- 15日(月) 企業訪問(横浜市)
- 16日(火) 町戦没者追悼式
- 17日(水) 町戦没者追悼式
- 18日(木) 町戦没者追悼式
- 19日(金) 町高年齢者クラブとの意見交換会

町長の動静

(平成22年11月) ※主な会議及び行事を抜粋(庁内の会議、打ち合わせは除く。)

■ 暮らしの情報

●お問い合わせ: さつま町役場 TEL (53) 1111 FAX (52) 3514

健康増進課 健康増進係
内線2143

●健康診査日程

- 1歳6ヶ月児 (H21.5生)
 - 1月19日(水) 午後0時30分~午後1時
 - 1月26日(水) 午後0時30分~午後1時
- 3歳児 (H19.11生)
 - 1月26日(水) 午後0時30分~午後1時
 - 2月3日(木) 午後0時30分~午後1時
- 2歳6ヶ月児 (H20.7生)
 - 2月3日(木) 午後0時30分~午後1時
 - 2月10日(木) 午後0時30分~午後1時
- 4~5ヶ月児 産婦健康診査 (H22.9生)
 - 2月9日(水) 午後0時30分~午後1時
 - 2月16日(水) 午後0時30分~午後1時
- 母子健康手帳交付
 - 1月17日(月)
 - 1月31日(月)
 - 2月14日(月)
 - 午前9時30分~午前11時

時(宮之城保健センター) 健康保険証、印鑑をお持ちの上、ご夫婦でおいでください。

●福祉物塗布

- 1月19日(水)
- 1月26日(水)
- 2月3日(木)
- 午後3時~午後4時
- 付(宮之城保健センター)
- 総合健康相談
 - 2月1日(火)
 - 午前9時30分~午前11時
 - 時(宮之城保健センター)

●楽々健康ウォーク

- 初詣コース
 - 1月9日(日) 午前8時
 - 湯田八幡神社出発
 - 春を採ってコース
 - 1月22日(土) 午前8時
 - 佐志地区公民館出発

●心配ごと相談所

- 毎週木曜日
- 午前10時~正午
- 宮之城ひまわり館
- お問い合わせ先
- 町社会福祉協議会
- ☎(52) 1123

●所得税確定申告

- 税務課 町民税係
- 内線2119
- 平成22年分の所得税の

確定申告の相談及び申告書の受付は、平成23年2月16日(水)から3月15日(火)までです。還付申告の方については、平成23年2月15日(火)以前でも申告書を提出することができず。期限間近になると税務署は大変混雑しますので、早めに申告してください。

●年金受給者説明会

- 2月2日(水)~4日(金) 午前9時30分~午後4時
- 役場本庁東別館3階会議室
- お問い合わせ先
- 川内税務署
- ☎(22) 2830

●12月の納税など

- 町県民税第4期
- 国民健康保険税第7期
- 後期高齢者医療保険料第7期
- 介護保険料第7期
- 【納期限1月31日】

●有害鳥獣(イノシシやニホンジカなど)の捕獲実績について

- 町では、今年も猟友会に委託して狩猟期間外に水田等の農地を荒らすイノシシやニホンジカなどの有害鳥獣を捕獲してきました。
- 夏場の猛暑期等にわなによる効果的な捕獲ができたことから、イノシシ、ニホンジカとも昨年度以上にたくさん捕獲することができました。
- しかし、依然として山

●所得税等の障害者控除対象者認定書の交付について

- 身体障害者手帳の交付を受けていない65歳以上の方で、介護保険の認定を受け、概ね6か月以上寝たきり状態にある方は「障害者控除対象者認定書」の交付を受ければ障害者に準ずる者として所得税や住民税の障害者控除の対象となります。
- 認定の手続きは、印鑑をお持ちのうえ、介護保険係へお越しください。

間部を中心に被害が拡大する傾向にあることから、23年度についても、わなの設置拡大を図るなど、農林産物の被害が少しでも減るように猟友会や被害地区の住民の皆さんと連携して捕獲対策を強化したいと考えております。

●22年度捕獲数

- イノシシ 299頭
- (120頭)
- ニホンジカ 308頭
- (158頭)
- ()内は21年度の捕獲数

●介護保険課 介護保険係

- 介護保険課 介護保険係
- 内線2176

●所得税等の障害者控除対象者認定書の交付について

- 身体障害者手帳の交付を受けていない65歳以上の方で、介護保険の認定を受け、概ね6か月以上寝たきり状態にある方は「障害者控除対象者認定書」の交付を受ければ障害者に準ずる者として所得税や住民税の障害者控除の対象となります。
- 認定の手続きは、印鑑をお持ちのうえ、介護保険係へお越しください。

おのちひろ
大野千尋くん

柊野小学校 5年



人の役に立つ機械を作りたい！

ぼくの夢は、エンジニアになることです。それは「新型パソコンやロボットを開発して、たくさんの人の役に立たせたい」という思いがあるからです。この夢を実現させるために様々なことを正確にこなしていく力を身につけたいと思います。今のぼくは、少し注意力が欠けているところがあります。これから、様々なことに正確に、丁寧に取り組むことを大切にしていきたいです。

休日在宅医

【1月】

- 9日 薩摩郡医師会病院 ☎53-0326
- 10日 宮之城病院 ☎53-0180
- 16日 さつまクリニック ☎57-0020
- 23日 立志病院 ☎55-9119
- 30日 益寿医院 ☎57-0010

【2月】

- 6日 小緑内科 ☎53-0326
- 11日 林田内科 ☎53-1177

休日薬局

【1月】

- 9日 青空薬局 ☎52-0101
- 10日 つるだ薬局 ☎55-9388
- 16日 元島薬局 ☎44-2077
- 23日 フタヤ薬局 ☎59-2033
- 30日 ぎんざ薬局求名店 ☎31-6500

【2月】

- 6日 とどろ薬局 ☎52-2525
- 11日 ウチ薬局 ☎53-0063

わたしたちの町

推計人口による

人口 23,990人 (- 7人)
 男 11,093人 (- 9人)
 女 12,897人 (2人)
 世帯数 10,306世帯
 転入 43人 転出 35人
 出生 24人 死亡 39人
 (平成22年12月1日現在)
 ()は前月対比

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。